



◀ 広野町移住ポータルサイトHIRONO STYLE
「移住者の声」



愛犬とのびのびと
暮らせる環境も
広野町の魅力の一つ

この仕事を初めてから、お客様との人生に寄り添っているなっと感じる出来事がありました。お付き合いされているお一人がそれぞれに来店されて、お互いのプレゼントを内緒で購入されたんです。そのお二人が結婚されて、結婚指輪を作らせていただきました。しばらくするとお子さんが生まれて、その記念品になるものを購入されて、お子さんが小学校入学する際には学校で使う靴袋とか、そういった入学グッズを作らせて頂いて…。人生に寄り添えるいい仕事だなあって、嬉しいなあって思います。

広野町は私の故郷です。寒すぎず、暑すぎず、四季を感じられる気候がとっても良いです。

近所さんは会えば声をかけ合い、とても仲良くしてくださいます。実家の周りは子供の頃から知っているおじちゃん、おばちゃんが出て、とても安心できる

広野町はやるうと思えばなんでもできる場所

環境です。

私にとってはちょっと不便なところも魅力の一つです。不便さが生活の工夫につながっていて、例えば美味しいコーヒーが飲みたいな、と思っててもコーヒーショップが無い。だったら美味しい豆を探して自分で淹れてしまおう、って行動していくとその工夫が良いところにつながっているように思います。

広野町で私が好きな場所は火力発電所。夜になると海沿いの道から見える光がとても綺麗なんです。バイクだと海岸沿いの道はとっても気持ちがいいですよ。

広野町はやるうと思えばなんでもできる場所だと思います。もし広野町で起業をお考えでしたら、役場や商工会の方々に相談してみたいと思います。とても親身になってアドバイスや手助けをしてくださいますよ。



Indian Jewelry& Craft HUMMING BIRD

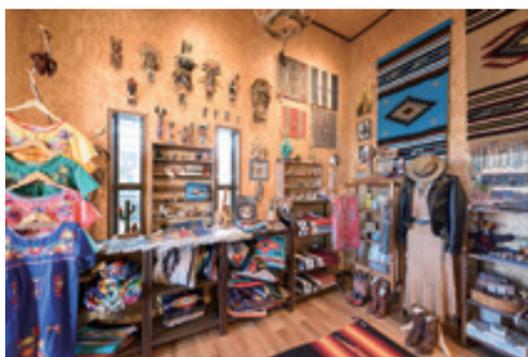
ハミングバード



大和田 理華さん

Rika Owada

東京での会社員時代に、インディアンジュエリーに出会い、魅入られて渡米。
ネイティブ・アメリカンの人たちと関わる仕事がしたくて、2006年にいわき市にハミングバードをオープン。
その後、2021年に生まれ育った広野町へ店を移し移住。



おしゃれな店内は理華さんセレクトの
インディアングッズとアクセサリがたくさん



ネイティブ・アメリカンの文化に魅了され、 関わりを持ちたくて始めたジュエリーショップ

私は東京に進学し就職しました。東京で暮らしている中で、ある時インディアンジュエリーに出会いました。

それ以降、インディアンジュエリーにとっても興味を持ち、単身アメリカへ行ってみました。その時に訪れたネイティブ・アメリカンの人たちが住む土地にすごく惹かれたんです。

この経験からネイティブ・アメリカンの人と関わりを持てる仕事がしたいと思い、東京から福島に戻ってくるタイミングで開業を決意して、いわき市に店をオープンしました。その後、故郷への想いも強かったため、生まれ育った広野町へ移転しました。

仕事は主に、インディアンジュエリーの仕入れと販売。バックやポーチの製作。こちらは卸しと販売もやっています。アメリカに買い付けに行くこともありますが、年に1、2回はネイティブ・アメリカンの人たちが大勢住んでいる、ニューメキシコ州のアルバカーキまで飛行機で飛んで、その後はレンタカーでニューメキシコ州からアリゾナ州をぐるっと回ります。

現地で買い付けするのは、インディアンジュエリーがメインです。現地のアーティストさんに直接買わせてもらったり、あとは卸しをやっていくショップもあるので、そこで仕入れたりしています。

インディアンジュエリーの魅力は、同じものが2つと無いこと。

全てが手作りで、石も同じものが無いので、自分の気に入った物が唯一無二の物になります。流行り廃りが基本ないので、ずっとつけられる宝物になっていく。そこが一番の魅力です。

夢が実る

Dream comes true

Turquoise Accessories

